

2023年 千葉大本番レベル模試

解答・採点基準

全3問 80分 200点満点

I (60点)

解答

問1

画面上にかわるがわる文字が表示される環境で、N回前に画面上に表示された文字を思い出す[思い出させる]作業。

問2

多くの先行研究で疲労の原因は何らかの物質が失われることだとされてきたのに対し、今回の研究ではグルタミン酸塩が蓄積されることが疲労の原因だと指摘されているから。

問3

疲労をどのように測るか[疲労の計測方法]については様々な学派のようなものがある

問4

肉体を動かして生じる疲労が、知的作業を経て感じられている疲労と比べてどういった点で異なるのか、またそもそも異なるのかはあまりよくわかっていないということ。

問5

知的に負荷のかかる作業の後で疲労を感じている場合に、後々にもたらされうるより大きな報酬を放棄することを前提に選択される傾向が強くなる、すぐに得られる満足であること。

問6

- | | | | | | |
|-----|---|-----|---|-----|---|
| (a) | C | (b) | B | (c) | C |
| (d) | A | (e) | D | | |

採点基準

問 1 10 点満点

画面上にかわるがわる文字が表示される環境で、N 回前に画面上に表示された文字を思い出す[思い出させる]作業。

1. 下線部の直後を踏まえて解答のように説明できていれば 10 点加点。

問 2 10 点満点

多くの先行研究で疲労の原因は何らかの物質が失われることだとされてきたのに対し、今回の研究ではグルタミン酸塩が蓄積されることが疲労の原因だと指摘されているから。

1. 今回の研究が先行研究と異なる(正反対と言える)内容を指摘している, という点を主たる理由として指摘できていれば 4 点加点。
 - 文末表現には拘泥せず, 「今回の研究は~という点で新しく, それが Apps の興味を惹いた」などと記述していても加点する。
2. 先行研究の内容として, 疲労の原因が何らかの物質を喪失することである, ということが指摘されていれば 3 点加点。
3. 今回の研究の内容として, 疲労の原因が(グルタミン酸塩という)特定の物質が蓄積されることである, という点を指摘できていれば 3 点加点。
 - グルタミン酸塩という物質名に関する言及の有無は点数に影響しない。

問 3 10 点満点

There are sort of different schools of thought about how we measure fatigue
疲労をどのように測るか[疲労の計測方法]については様々な学派のようなものがある

* 末尾の句点の有無は点数に影響しない。

1. いわゆる There 構文を用いた存在を説明する文であること, about が(schools of) thought を修飾していることを踏まえた訳出になっていれば 10 点加点。
2. 以下のように減点項目を設定する。
 - schools of thought については「学派」「考え方(の流派)」などの訳語を幅広く認め減点しないが, 「学校」など不適切な訳語を用いている場合には 2 点減点。
 - sort of は曖昧化のための表現なので, 「種類」のような訳語を用いている場合には 2 点減点。
 - different を「異なる」「違う」などと訳している場合 2 点減点。
 - how we measure fatigue における we は疲労を感じる諸個人を指すが, そのように理解することができない答案については 3 点減点。

問4 10点満点

肉体を動かして生じる疲労が、知的作業を経て感じられている疲労と比べてどういった点で異なるのか、またそもそも異なるのかはあまりよくわかっていないということ。

1. 肉体を動かして生じる疲労と、知的作業の帰結として生じる疲労との差異が問題になっている、ということを説明できていれば4点加点。
 - 「肉体的疲労」「精神的疲労」などの表現でも減点しないが、後者を「脳の疲労」などとするものについては加点を2点にとどめる。
2. where 節に対応する内容として、どういった点で異なる[区別される]のか、ということを説明できていれば3点加点。
3. if 節に対応する内容として、そもそも異なる[区別される]のか、ということを説明できていれば3点加点。

問5 10点満点

知的に負荷のかかる作業の後で疲労を感じている場合に、後々にもたらされうるより大きな報酬を放棄することを前提に選択される傾向が強くなる、すぐに得られる満足であること。

1. 今すぐに[即時的に]得られる報酬[快樂(をもたらすもの)]であることを説明できていれば4点加点。
2. 加点項目1のような報酬を得るには、獲得するために時間がかかるより大きな報酬を放棄する[あきらめる]必要がある、という論理を把握できていれば3点加点。
 - 「獲得するために時間がかかる報酬を放棄する」ということについては、「待っていれば得られる報酬を放棄する[あきらめる]」や「後々大きな報酬をもたらす(と期待される)作業を行わない」など、部分的にであっても本文に適合する内容を書けていれば減点しない。
3. 加点項目2のような損失を踏まえて加点項目1のような報酬が選択されることについて、知的に負荷のかかる作業の後で(精神的)疲労を感じている場合に選択される傾向が強くなる[選択されがちである]、ということが記述されていれば3点加点。

問6 各2点 計10点

II(60 点)

解答・採点基準

問 1 各 5 点 計 20 点

- (1) for reality
- (2) is not easy
- (3) (maintaining) group cohesion
- (4) as projections of

問 2 各 5 点 計 20 点

- (1) B
- (2) A
- (3) D
- (4) A

問 3 各 5 点 計 20 点

- (1) F
- (2) T
- (3) NG
- (4) T

Ⅲ(80点)

解答・採点基準

- * 問1については別解を認めない。
- * 問2・問3については、示している別解の他の解を許容する可能性がある。
- * ひとつの解答に関して、文頭を大文字にしていないというミスのみが見られる場合には2点加点。
- * スペルミスがある場合にはその設問の点数を0点とする。

問1 各4点(完答) 計20点

(1)

3番目 we 6番目 falls

(Every time we visit he falls asleep)

(2)

3番目 is 6番目 fault

(that that is not your fault at)

(3)

3番目 it 6番目 thought

(will give it a more thought and contact you)

(4)

3番目 quite 6番目 perspective

(That is quite a new perspective to)

(5)

3番目 fallen 6番目 the

(had hardly fallen asleep when the neighbor's)

問2 各4点 計40点

- (1) are known to have survived
- (2) Although [Though] she [I/he] took her son
- (3) was [were] careful (enough) not to
- (4) estimated to account for a
- (5) for which he is
- (6) It was not until
- (7) to prevent them from being
- (8) that computers (should) be installed / that they [we] (should) install computers
- (9) he wished he had not [never]
- (10) not as [so] large as that

問3 各4点 計20点

- (1) thought it a / thought of a
- (2) without being able to
- (3) I [we] could see was [were]
- (4) than the one
- (5) would have failed to